

劇薬

苦味健胃剤

日本薬局方 ホミカエキス散

# ホミカエキス散「ホエイ」

Nux Vomica Extract Powder

承認番号	16000AMZ03802
薬価収載	1951年8月
販売開始	1953年9月
再評価結果	1984年6月

貯法：遮光、気密容器、室温保存

使用期限：5年

(容器に表示の使用期限内に使用すること)

## 【組成・性状】

### 組成

販売名	ホミカエキス散「ホエイ」
成分・含量 (1g中)	日局 ホミカエキス100mg [ストリキニーネ(C <sub>21</sub> H <sub>22</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> : 334.41)0.61~0.68%を含む]
添加物	バレイショデンブン

### 製剤の性状

本剤は黄褐色～灰褐色の粉末で、わずかに弱いにおいがあり、味は苦い。

## 【効能・効果】

苦味による唾液及び胃液の分泌促進

## 【用法・用量】

通常、成人1回0.2g、1日0.5gを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類	頻度	頻度不明
長期・大量投与 <sup>※</sup>	痙れん等	

注) ストリキニーネの蓄積による。

## 【薬効薬理】

エキスを単純胃瘻管造設イヌの胃内に投与するとき胃液分泌にほとんど変化は認められないが、コンズランゴ冷浸エキスを同時に適用するとき胃液分泌増加し酸度も上昇する。更にエキス又はチンキを単純胃瘻管造設イヌの口内又は胃内に投与するとき胃液分泌、酸度に変化を与えないし、胃、小腸に恒久性瘻管造設イヌになめさせるか胃内投与するとき、バルーン法で胃運動に著しい変化は認められない。

なお strychnine をヒト、イヌの口内又は胃内に投与すると、ゲンチアナチンキとはほぼ同様の効果があるという。また脊髄において抑制性シナプス後電位を減弱させてけいれんを引き起こすが、グリシン受容体に特異的に結合することが知られている。ペントバルビタールなどで麻酔したイヌに静脈内投与すると血圧上昇と心拍数増加が現れる。

## 【薬物動態】

ホミカエキス散の主成分であるストリキニーネは消化管から容易に吸収され、徐々に尿中に排泄される。なお、蓄積性のあることが知られている。

## 【包装】

500g

## ※※【文献請求先】

ヴィアトリス製薬株式会社 メディカルインフォメーション部  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号  
フリーダイヤル 0120-419-043

※※製造販売元

マイランEPD合同会社

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

※※販売元

ヴィアトリス製薬株式会社

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号